



させば日和 10
瞬間を待つ後ろ姿 平成24年10月 船越町

青空が広がった10月最後の日曜日、船越展望所は九十九島の夕日を狙う写真愛好者でいっぱいでした。その中で三脚にカメラを据え付けているのに、なぜかファインダーをのぞくことなく足元の猫としゃべったり、じつと夕日を眺めたりする男性が一人。聞けば九十九島の風景を撮り続けて27年目という写真家の方でした。

数分後、砂糖菓子のような夕日が水平線の上にかかったモヤに少しずつ隠れていくとき数回シャッターを切る音が聞こえ、「撮りたい九十九島の風景を、先にイメージしておくんだよ」と教えてくれました。なるほど、その「イメージした瞬間」を待っていたんですね。

日没後もしばらくお話を伺い、帰ろうと振り返ると、反対側の空には満月2日前の月がぼっかりと浮かんでいました。



10月と2月は、九十九島の夕景が美しい季節です。市内各所の展望台などでお楽しみください。

作品集「飛ぶ」より
撮影者 写真家坂井誠
撮影場所 船越展望所
撮影日 2011年2月2日

お便り

市民の皆さんからのお便り、市政への質問などをご紹介します。

質問 年末にクリーンセンターにごみを持っていこうと思っています。何か気を付けることはありますか？

回答 年末は、東部クリーンセンター(大塔町)と、西部クリーンセンター(下本山町)にごみを持ち込む人が集中するため、周辺の道路が混雑し、地域住民の皆さんにご迷惑をお掛けしています。これからクリーンセンターを利用する皆さんは、なるべく年末を避け、計画的なごみの排出を心掛けていただくようお願いいたします。

※年末年始の休業期間は、本紙23ページに掲載。
※受け付けることができないごみもあります。

詳しくは各家庭に配布している「ごみカレンダー」をご覧ください。
詳しくは各家庭に配布している「ごみカレンダー」をご覧ください。

☎ 廃棄物減量推進課 ☎32-2428
西部クリーンセンター ☎47-5292
東部クリーンセンター ☎31-3815

●臨時のごみステーションを設置します
時 12月29日④、30日⑤9時～16時
場 環境センター(稲荷町・佐世保競輪場横)
持ち込むことができるもの
①家庭で出た燃やせるごみ
②家庭で出た燃やせないごみ
③家庭で出た資源物
※出し方は通常と同じです。①②は指定袋に入れ、③は資源物の種類ごとに分別し、透明か半透明の袋に入れて出してください。
※紙おむつ、落ち葉は透明か半透明の袋に入れて出してください。剪定枝は80cm以下に切り、ひもで縛って出してください。
※事業活動でのごみは持ち込みができません。
☎ 環境政策課 ☎31-6520

広報クイズ

問題の○に当てはまる文字等をお答えください。ヒントは紙面の中にあります。

問題1

全国の養殖トラフグ生産量は4410トン(平成22年度)、そのうち半分以上の2449トンが長崎県産です。産地別に見ると、佐世保市は松浦市に次ぐ622トンで、全国でも第○位の生産量を誇ります。

問題2

市税を滞納すると、法律に基づき、○○の財産に対して調査権限が発生します。

問題3

「○○」とは家族や仲間がそろって食事すること。

応募方法

「はがき」または「Eメール」に、①答え②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙へのご意見を書いて、12月20日(木)までに(消印有効)広報紙へお送りください。
※応募は1人1通。全問正解者の中から抽選します。
※紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

11月号の答え ①プラザ ②町内会 ③人

10月号の応募状況 194通(正解180通・不正解11通・無効3通)

12月号当選者プレゼント

九十九島とらふぐの身欠き
(5人前 8,000円相当)を5人に!



水揚げしたトラフグを加工所でさばき、真空パックに詰めてお届けします。

内容：トラフグ身(刺し身、しゃぶしゃぶ用)、アラ(から揚げ、鍋用)、フグ皮(湯引き、鍋用)、ひれ(ひれ酒用)

提供 九十九島漁業協同組合 ☎69-3161

あて先 ●はがき 〒857-8585(住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係あて

●Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp (携帯電話からも可)